

あの時 学んだのは 備えることの 大切さ。

いまだに、あの時のことは鮮明に覚えていても、時間とともに、あの時の教訓は、薄れてしまっているのではないだろうか。

大災害からさまざまなことを学び、自治体や地域では、これまで以上に訓練を行い、共助を高めてきた。しかし、個人の備えはどうだろうか。

万が一のときに、いかに確実な情報を瞬時に受け取ることができるとかで、個人の行動は大きく変わる。七尾市で災害が起きた時、市からさまざまな情報ツールを使って情報提供を行うことになっているが、皆さんはそれを受ける準備はできているだろうか。

能登半島地震から7年、東日本大震災から3年が経過しようとしている今、もう一度、あの時に学んだことを確認してみたい。